

平成25年度

北信越ブロック A 級審判員講習会 記録

期日 平成25年8月24日(土)～25日(日)

会場 上越市総合体育館

—北信越バスケットボール協会審判委員会—

平成 25 年度 北信越ブロック A 級審判員講習会

- 1.主 催 (公財)日本バスケットボール協会
北信越バスケットボール協会
- 2.主 管 新潟県バスケットボール協会
- 3.期 日 平成 25 年 8 月 24(土)～25(日)
- 4.会 場 上越市勤労身体障害者体育館(成年男子)
上越市総合体育館(少年男子・少年女子)
- 5.日 程 8 月 24 日(土) 9:30～ 開講式
10:00～ 実技
終了後 講義
8 月 25 日(日) 9:00～ 実技
終了後 閉講式
- 6.講 師 (公財)日本バスケットボール協会審判委員会指導委員 星河良一 氏
(公財)日本バスケットボール協会審判委員会指導委員 渡辺雄吉 氏
- 7.参加者 北信越ブロック A 級審判員(16名)
(新潟県) 平澤 明男 坂上 佳弘 丸山 大
(富山県) 構 富士雄 濱住 知明 河辺 真由美
(石川県) 永山 亮一 矢田 伸一 吉田 康人
(福井県) 仲埜 弘幸 栗原 敏彰
(長野県) 大井 明 樋口 一正 関 和明 山本 邦博
尾形 美樹
- 8.大会名 第 34 回北信越国民体育大会バスケットボール競技

平成25年度 北信越ブロック A 級審判員講習会 開講式

平成25年8月24日(土) 9:20～ 上越市総合体育館・ミーティングルーム

■北信越バスケットボール協会 審判審査委員長 荒木博明 氏

- ・平成25年度の講習会として日本協会より講師をお招きしている。
- ・本国体出場に向けて各県の名誉をかけて戦う試合である。
- ・自分の県が上手いかないと審判のせいにする観客がいる。
- ・自分の力を信じて審判をしてほしい。
- ・普段は指導をする立場の方が講習を受ける。
- ・自分のレベルアップを図れるように謙虚に講習を受けてほしい。



■講師 (公財)日本バスケットボール協会審判委員会 指導委員 星河良一 氏

- ・公式大会を使っでの研修会である。普段の力を発揮してほしい。
- ・ブロックの審判レベルを上げるために来ている。
- ・一生懸命頑張してほしい。



■講師 (公財)日本バスケットボール協会審判委員会 指導委員 渡辺雄吉 氏

- ・今日明日と時間に限りはあるが、北信越ブロック並びに個々の審判技術を上げるために来ている。どんどんと話しかけてほしい。



【講習会の様子】

- 平成 25 年 8 月 24 日（土）
成年男子 福井 VS 長野
主審 構 富士雄（富山県）
副審 丸山 大（新潟県）

講師 渡辺 雄吉 氏



- 平成 25 年 8 月 24 日（土）
成年男子 石川 VS 新潟
主審 栗原 敏彰（福井県）
副審 山本 邦博（長野県）

講師 星河 良一 氏



- 平成 25 年 8 月 24 日（土）
成年男子 富山 VS 福井
主審 平澤 明男（新潟県）
副審 中川 北斗（長野県）

講師 渡辺 雄吉 氏



- 平成 25 年 8 月 24 日（土）
少年女子 福井 VS 長野
主審 河辺 真由美（富山県）
副審 山本 達也（富山県）

講師 渡辺 雄吉 氏



- 平成 25 年 8 月 24 日（土）
成年男子 長野 VS 石川
主審 濱住 知明（富山県）
副審 鈴木 宏（新潟県）

講師 星河 良一 氏



- 平成 25 年 8 月 24 日 (土)
成年男子 新潟 VS 富山
主審 大井 明 (長野県)
副審 吉田 康人 (石川県)

講師 星河 良一 氏



【 講 義 】

平成25年8月24日(土)18:00～ 上越市総合体育館 ミーティングルーム

講師 星河 良一 氏

テーマ:「A 級審判員としてのレベルアップについて」

・二人で審判をすることを強く考えること。

プレカンファレンスからしっかりと協力をする。

同じプレイを二人で見ている。目を当てていない所が出てきてしまっている。

視野の分担、責任エリアをもっと意識して判定してほしい。

リードの視野が長すぎる。エリア 1,2,3 をリードが見てしまっている。

はっきりとトレイル・リードで視野の分担をわけてほしい。

お互いが気付いたことは早く話をする。

・コート中で上下関係が表れている。

コーチの態度が悪いので、周りから審判が悪いように見えてしまう。

上級審判員としては非常に良くない。

ベンチの言い成りになっている。強い意志を持ってほしい。

A 級→AA 級になる為には有料試合を吹いているのだと意識してほしい。

お客さんはバスケットボールを見に来ている。

審判がしっかりと表現できなければお客さんに失礼。

審判はコーチをコーチングに集中させる。ベンチが審判をしているわけではない。

そのような状況は上級審判員として失格である。

コーチと審判は同等である。コーチが偉いわけではない。

クレームに対しては簡単にテクニカルファウルを当たり前に吹くべきである。

・feel the game

もっと試合の内容を感じ取ってほしい。

言葉だけではなく自らアンテナを張って感じ取ってほしい。

特にファウルゲーム。しっかりと感じなければならぬ。

チームがやりたいことをいち早く感じ取って表現しなければならぬ。

情報を審判員同士で共有する。

力のある上級審判員になるためには上記の3つを実践してほしい。

「若手審判に伝えたいこと」

・スポーツの審判員として

バスケットを取り巻く情勢をもっと知らなければならない。

我々は安易にバスケットを考えてはいけぬ。

プロではないが試合が始まればプロである。

お客さんのことをよく考えて審判をすること。

仕事を言い訳にしているはいけない。(口に出さない・態度に出さない)

日頃から、トレーニングや食事や考え方を、しっかりとしていかなければならない。

我々審判員がしっかりしないと、これから始める審判員が育たない。

日本のスポーツ文化も変わってきている。皆さんも変化しないといけない。

片手間の審判ではいけない。仕事を2つ持っているような感覚で行ってほしい。

講師 渡辺 雄吉 氏

「トラブルの対処法について」

・トラブルの原因は審判が作っていることが多い。

乱闘の対処。

もたもたすればトラブルが大きくなる。

早い対応が必要。しっかりと処理をすることが大切。

わかりにくい、なんとなくは絶対にあってはならない。

お客さんがみんな見ている。

トラブルは必ず起こる。

なぜならば審判も選手も人間だから。

「モチベーションについて」

・なぜ審判をしているか？

それはいい試合を見たいから。

審判が一番近いところでゲームを見ることができる。



【講習会の様子】

- 平成 25 年 8 月 25 日（日）
成年男子 石川 VS 富山
主審 山本 邦博（長野県）
副審 日下 弘賢（福井県）

講師 渡辺 雄吉 氏



- 平成 25 年 8 月 25 日（日）
成年男子 新潟 VS 福井
主審 永山 亮一（石川県）
副審 大井 明（長野県）

講師 星河 良一 氏



- 平成 25 年 8 月 25 日（日）
少年女子 福井 VS 石川
主審 尾形 美樹（長野県）
副審 山崎 翔泰（新潟県）

講師 渡辺 雄吉 氏



- 平成 25 年 8 月 25 日（日）
成年男子 富山 VS 長野
主審 坂上 佳弘（新潟県）
副審 栗原 敏彰（福井県）

講師 星河 良一 氏



- 平成 25 年 8 月 25 日（日）
成年男子 福井 VS 石川
主審 樋口 一正（長野県）
副審 関 和明（長野県）

講師 星河 良一 氏



- 平成 25 年 8 月 25 日 (日)
少年女子 石川 VS 富山
主審 仲埜 弘幸 (福井県)
副審 梅田 香 (福井県)

講師 渡辺 雄吉 氏



平成25年度 北信越ブロック A 級審判員講習会 閉講式

平成25年8月25日(日)15:50～ 上越市総合体育館・ミーティングルーム

■講師 (公財)日本バスケットボール協会審判委員会 指導委員 星河 良一 氏

・取り組み方・メカニクについて

ライセンスに違いがあってもチームにとっては関係のないこと。

二人でしっかりと判定をしてほしい。

二人に意識の差があると上手くいかない。

神奈川県石田さんの言葉

「一緒にコートに入ろう」

二人が同時に入る。二人でゲームを遂行させる強い意思表示になる。

経験やライセンスに差があるのはしょうがないこと。

ただ気持ちに差があるのは絶対にダメである。

割り当てを受けるということは自分が信頼させていること。

しっかりと考えて二人でゲームを運営して行ってほしい。

謙虚、謙遜をコート内に持ちすぎてはいけない。

ゲーム前、ゲーム中にいろいろな情報を得ることが必要。

今の皆さんは漠然として判定をしている。

物差しに例えると・・・

mm単位を目盛りを持ってほしい。もっと経験や勉強をするべき。

すべてのプレーを知っておく必要がある。

マニュアル通りに動いていても判定はできない。

自分が見ていることを明確にすることが必要。

自分の責任エリアで何も物事が起こらない。逆に相手審判員のエリアで物事がたくさん起こっていることがある。

どうしても焦る気持ちになってしまう。不安になる必要は何もない。

自分のエリアをしっかりと見ること。

ショットブロックが上達してきている。

見極めをしっかりとしてほしい。

地方大会でも全国大会でも同じルールで行っている

ルールの理解と正しい適応を、どのカテゴリーどのレベルでもしっかりと行うこと。

我々審判員は常に 100%の結果を求められる。

選手も同じであるが選手には邪魔をする相手がいる。

自分の審判を邪魔する者と言えば自分である。

懐の深さ、多角的に物事を見られる、先を読むことができる。
以上のことを高められるように日ごろから頑張ってください。

パラレルキャリア

自分とは違う環境の人たちが集まって作業をする活動。
いろいろな方と付き合いいくと自分の幅が広がる。
審判活動に必要なことを勉強することができる。
審判員はリーダーである。
自分をしっかりと訓練すること。

■ 講師 (公財)日本バスケットボール協会審判委員会 指導委員 渡辺 雄吉 氏

- ・A級の方は自分の言葉や姿で若い方を育てる。
自分自身もレベルアップをしなければならない。
けがや体調管理をしっかりと行ってほしい。



■ 北信越バスケットボール協会 審判審査委員長 荒木 博明 氏

- ・各県の理事長に今回の講習会をお知らせした。
皆さんは自分の県に戻っていろいろな人に見られている。
この講習会で学んだことをしっかりと今後の審判活動に活かしてほしい。

